

Different culture, same concerns

A Study of Motherhood in Korean Women's Fiction from a Spanish Perspective

異なる文化、共通する関心

—スペインの視点から見る韓国女性文学における母性研究—

【日時】

7月14日(火)
13:05~14:35 (3限)

【会場】

学術ホール
(7号館1階)

【講師】

Elia Rodríguez López 氏



1981年、スペイン・バルセロナ生まれ。
現・サラマンカ大学助教授。

スペインの大学でアジア学を学んだのち、
韓国の大学院へ留学。

専門分野は近現代韓国文学。

2020年、韓国・ソウル大学大学院に「A Study on Space
Cognition and the Meaning of the Name of Places in Kim Chunsu's
Poetry」という題目で博士論文を提出し、博士号を取得。

講演者は研究論文に加え、儒夢仁(ユ・モンイン)の古典儒教
作品『于野談』や韓永雲(ハン・ヨンウン)の詩など、韓国
文学、さらには韓国語教科書のスペイン語への翻訳において数
多くの業績を残している。

【講演概要】

スペインの研究者が、「異なる文化、共通する関心——スペインの視点から見る韓国女性文学における母性研究」をテーマに、韓国語で講演を行います。本講演では、韓国女性文学に描かれる「母性」に焦点を当て、家族、ジェンダー、社会規範といった問題が文学の中でどのように表象されてきたのかを考察します。母性を私的な経験や生物学的な事実としてのみ捉えるのではなく、すべての社会に関わる人間的な問題であると同時に、文化的・歴史的・社会的な文脈によって深く形づくられるものとして捉えます。

本講演ではまず、西洋フェミニズム研究の中心的関心からしばしば外れてきた文脈も視野に入れながら、母性を複数の視点から研究することの重要性を紹介します。あわせて、文学が社会の価値観、葛藤、矛盾に接近するためにどのような可能性をもつのかについても簡単に考えます。そのうえで、講演の中心となる事例研究として、韓国女性作家による三つの短編小説における「子どものいない母」というモチーフを取り上げます。なお、そのうち二作品はスペイン語に翻訳されています。

日本では、韓国語や韓国文化に触れる際、日本からの視点が中心となることが多いですが、そこにスペインという第三の視点を加えることで、韓国文学と韓国社会をより多面的に捉えることができます。一対一の比較だけでは見えにくい点も、複数の文化的視点を交差させることによって、より深く理解できるようになります。

この講演会は韓国語の講演ですが、日本語通訳があります。

履修者以外の参加

「言語文化特殊講義 I (韓国・朝鮮)」履修者以外で参加をご希望の方は事前にお申込みください。

申込締切 7月10日(金)16:00

申込フォーム <https://forms.gle/AADZgJU6WZayiqUr6>



主催

広島修道大学
外国語グループ/ひろしま未来協創センター

お問い合わせ

広島修道大学ひろしま未来協創センター
電話 : 082-830-1114
Email : r_support@js.shudo-u.ac.jp